

【ビジターセンター イベント案内】

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- ガイドウォーク（無料・申込不要）
開催日：第1日曜日・第4日曜日
13:30~14:30頃
※雨天時にはスライドトークを実施
- スライドトーク（無料・申込不要）
開催日：毎週土曜日、第2・第3日曜日
（第5日曜日）、祝日
13:30~14:00

県立丹沢湖ビジターセンター

- 自然教室「昆虫からの招待状」
内容：昆虫のすみかにおじゃまして虫の世界
絵巻を完成させる。
実施日：平成23年8月6日（土）
時間：9:30~15:30
集合・解散：丹沢湖ビジターセンター
活動場所：丹沢湖ビジターセンターと周辺の森、
草原
対象：小学生と保護者
定員：30名（応募者多数の場合は抽選）
講師：足立直義氏
（グループむしくさ代表、ナチュラリスト）
参加費：1,300円
締切：7月14日（木）
申込み：往復はがき又はFAX（返信先FAX番号明
記）に行事名・参加者全員の氏名・年齢
住所・電話番号を記入の上、締切日必着
で丹沢湖ビジターセンターまで。

環境省 箱根ビジターセンター

- 箱根地域自然に親しむ運動
「箱根の自然ボランティア体験」
外来植物の駆除駆除など、自然を守るボラン
ティア活動を体験します！
実施日：8月5日（金）
応募締切：7月14日（木）必着
申込み：箱根ビジターセンター宛てにメール
又は往復はがき。詳しくは、ビジター
センターまでお問合せください。

- 夏休みのイベント（無料・申込不要）
開催期間：7月31日（日）～8月21日（日）
内容：早朝散歩・大涌谷自然観察会・クラフ
ト教室など

県立秦野ビジターセンター

- 夏休み自然教室「歩こう！丹沢の水源林」
内容：森の中には何がある？丹沢の水源林を歩いて
そこで暮らす生きものや森の役割をさぐります。
実施日：平成23年7月31日（日）
時間：9:00~16:30
集合・解散：松田町 寄（やどりき）バス停
活動場所：やどりき水源林内
対象：小学校3~6年生とその保護者
定員：25名（応募者多数の場合は抽選）
参加費：1人1,500円
締切：7月15日（金）
申込み：往復はがきに行事名・参加者全員の氏名・年齢
住所・電話番号を記入の上、締切必着で秦野ビ
ジターセンターまで。

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
県立ビジターセンター：月曜日（祝日開館）、祝日翌日（土日開館）
1~3月第2水曜日（祝日開館）
年末年始（12/29~1/3）
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
年末年始（12/28~1/1）

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30（通年）
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakvc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日礼場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00~17:00（入館は16:30まで）
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒：231-0027横浜市中央区扇町3-8-8関内ファーストビル6階
TEL：045-651-0931 FAX：045-651-0932
公園課（自然公園担当）：sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>
後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会 検索

2011

7月号
No.89

～自然公園から季節のたよりをお届けします～
神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

夏のお客さん

丹沢湖ビジターセンター



オオシオカフトンボ



タカネトンボ



ルリボシヤンマ



オニヤンマ

夏の行楽地では迷子が増えますが、丹沢湖ビジターセンターでも夏になると迷い込んでくるお客さんが増えます。

風通しのために窓を開けているとトンボがよく入ってきます。子供たちが集まって即席観察会が始まることも。オニヤンマの大きなあご、タカネトンボのキンキラキンの体、じっくり観察した後は外に放します。ここに紹介した写真のトンボ達がちょっとごちない(?)のは、人の手でそっと植物などにとらせたから。

なぜトンボがよく迷い込んでくるのか?ある日捕まえたトンボを見ると、腹の先に卵を持っています。その時、理由がわかった気がしました。トンボは水辺に卵を産みます。ビジターセンターの床は黒くて光沢があり、光が反射すると水面に見えないこともないのです。卵を産む水辺と間違えてしまったのか本当のところはわかりません。

夏はトンボに会いに、丹沢湖ビジターセンターに遊びに来ませんか。(榎谷)



ヤブヤンマの卵
おしりの先にも注目してみましょう!

芸術家 ~虫たちの〇〇~

宮ヶ瀬ビジターセンター



①

動物たちのすんでいる証拠としてよくあげられるのが、足跡や糞、食べ痕、毛などですが、虫たちだってそんな痕跡をたくさん残しています。それは、小さな小さな芸術品。

葉っぱには、虫たちの食べ痕がたくさんあります。食べ痕といっても、四角かったり、丸かったり、模様のようなだったり。様々な形の葉にさらに複雑な模様を組み込み、芸術作品にしていけるのです。クズの葉の縁を複雑な模様に変えている「コフキゾウムシ」の食べ痕（写真①）や、まるでレース編みのようにスケスケの葉へと変えてしまう「クルマミハムシ」（写真②）。一つとして同じ模様のない逸品ものの出来上がり！です。

そして、虫たちならではの渾身の芸術品は抜け殻。セミの抜け殻は有名ですが他の虫の抜け殻だって負けてはいませんよ。透明なものから、色のついたもの、抜け殻をしょって着飾っているものまでいるのです（写真③④）。頭上、足元様々な場所に虫たちの芸術品が残されています。すぐそばには本物が待っているかもしれません。よくよく観察して、芸術家を探してみましよう！（谷脇）



③



②



④

③テングアワフキの脱皮。突き出した鼻の形が一緒でしょ！

④頭部の脱皮殻を背負った幼虫。キラキラとした脱皮殻が塔のように！

ハコネバラ

(サンショウバラ)が綺麗です 箱根ビジターセンター

今年は樹の花が豊作で、アセビやサラサドウダンも、見事な花を長い間見せてくれました。エゴノキの下は、落ちた花が重なり合っていて、白い玉石を敷いたようになってますし、これから見頃を迎えるヒメシヤラも、多くの蕾をつけています。

富士箱根地域特産で、箱根に多産するサンショウバラも、花付きがよく見応えがありました。ビジターセンターのある仙石原周辺では、6月中旬が見頃でしたが、駒ヶ岳山頂や外輪山の稜線沿い、精進ヶ池周辺はまだ蕾で、見頃は7月、梅雨明けの頃になりそうです。



仙石原湿原に咲くサンショウバラ

サンショウバラは、幹の太さが10cm以上にもなり、世界で最も幹が太くなるバラです。花も大きく、7~8cmあります。淡いピンクの一重の美しい花ですが、その命は短くて二日ともたずに次々と散っていきます。

箱根ではサンショウバラをハコネバラと呼び、箱根町の花に指定しています。（石原）



仙石原湿原

発見！生きものつながり

秦野ビジターセンター



6月下旬、表尾根でたくさんの花をつけたサルナシを見つけました。



8月初旬、実が落ちていたのを見つけました。切ってみました。



7月初旬、別の場所で若い実がなっているのを見つけました。



10月初旬、登山道上でテンの糞の中からサルナシの種を発見しました。

サルナシはマタタビ科のつる性植物で、キウイフルーツの原種ととても近い種です。切ったサルナシの実はキウイフルーツと似ていませんか？ツキノワグマやテン、ニホンザルなどの野生動物が好んで食べているようです。この植物はつる性で他の樹木をつたって高いところへ伸びていきます。

登山中はいきなり足元ばかりを見てしまいがちですが、ぜひ木の上にも目を向けてみてください。花から実へ、実から野生動物の糞の中へ！定期的に山歩きを楽しみながら、生きものつながりを発見してみませんか？（村上）

丹沢で一番古い地層は…？

西丹沢自然教室

丹沢は海から生まれたのは知っていますか？ 今から1,700万年前に太平洋の海底火山として誕生しました。後に丹沢となる土地がフィリピンプレートに乗って北上してきて500万年前に本州に衝突し、100万年前の伊豆半島の衝突によって丹沢の原形が作られました。

丹沢で最も古い1,700万年前の地層には「枕状溶岩」があります。知らない人にはただの石に見えるかもしれませんが、わかるようになると面白いのです。枕状溶岩は海底で噴き出した溶岩がすぐに固まり、枕のような形で転がってきたものです。

西丹沢自然教室には、野外に石の展示があります。6月からは中川川流域から採集した地元産の「枕状溶岩」の標本も展示してあります。展示しているものは、大きくて枕には使えませんが、採集に行った場所では枕サイズの枕状溶岩も転がっていました。

西丹沢にお越しの際は、展示を通じて丹沢の遙かな歴史に思いを寄せてみてはいかがでしょうか？



野外岩石展示 石にもいろいろあります。



これが枕状溶岩。丹沢で一番古い地層です。